

令和2年7月8日15時00分
資料配布 紀伊山系砂防事務所

長殿地区河道閉塞箇所の水面上昇が予測されています ～河道閉塞箇所に設置している仮排水路に河川水が流入する可能性あり～

平成23年紀伊半島豪雨に伴う土砂崩壊で発生した長殿地区の河道閉塞箇所について、今後の降雨次第では上流側の水位が上昇し、早ければ7月9日午後に河道閉塞している土砂の上部に設置した仮排水路へ流入する可能性があります。

流入量によっては河道閉塞している土砂の浸食、崩壊が発生し、下流の熊野川流量が更に増加する可能性があります。

7月3日からの梅雨前線に伴う継続的な降雨により自然浸透による水位低下能力を上回る流入量となっており、上流側の水位が上昇しています。これまでの降雨実績と今後の降雨予測に基づいて行った水位予測の結果、早ければ7月9日午後に河道閉塞している土砂の上部に設置した仮排水路に流入する可能性があります。

長殿地区では、既に砂防堰堤や仮排水路が完成しているため、仮排水路に流入しても直ちに河道閉塞している土砂の浸食や崩壊につながるものではありませんが、もし崩壊等が生じると下流の熊野川流量が増大する可能性があります。

なお、仮に河道を閉塞している土砂が崩壊した場合でも、人家への影響はない予測となっていますが、関係機関と情報共有しながら、引き続きカメラ、水位計等の監視機器を用いて常時監視を継続してまいります。

<取扱い>

<配布場所> 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ
奈良県政・経済記者クラブ、五條市政記者クラブ

<問合せ先>

近畿地方整備局 紀伊山系砂防事務所 副所長 林 政行(内線204)
調査課長 山田 拓 (内線351)
TEL:0747-25-3111(代表) 0747-25-3251(直通)

ながとの
長殿地区 (奈良県十津川村)

